

鉄屋のアスリートたち

眞野 雄輝氏

(古賀オール)

古賀オール(本社・東京都中央区)の東京工場(江東区新砂)で管理部生産業務グループに所属する眞野雄輝さん(40)の二写真が、3月中下旬にアラブ首長国連邦(UAE)で開催された世界車いす・切断者競技連盟主催の世界競技大会に出場。やり投げで38歳38を出し、これまでの日本記録(36歳86)を16年ぶりに塗り替えた。自己ベスト(34歳93)も、4歳近く更新している。

3月16～27日にかけてUAE E3地区(シャルジャ、アル

やり投げで日本記録更新

障害者大会で5つのメダル



アイン、ドバイ)で肢体不自由な障害者を対象としたIWRAS主催の競技大会が開催され、足に障害を持つ眞野さんは、3大会すべてに自身が得意とするやり投げと100歳走で出場。このうちアルアインでのやり投げ競技で快挙を成し遂げた。

今大会での記録は公式世界ランキングに認められる。38歳以上が「国際A標準」に規定されており、7月に仏リヨンで行われる世界選手権出場の可能性も現実味を帯びてきた。3大会・計6競技にフル出場した眞野さん。やり投げではすべてでメダルを獲得(シャルジャ2位、アルアイン3位、ドバイ3位)。

100歳走でもアルアインで追い風参考ながら15秒8を記録し、自己ベスト(17秒76)を大きく更新している。ちなみに100歳走の順位はシャルジャで2位、アルアインで4位、ドバイで2位となり、やり投げと合わせて合計5つのメダルを首に下げ、帰国した。